

みやけの風

第 235 号

平成 17 年 (2005 年) 8 月 13 日 (土) 発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cipo.org

昨日は阿古地区で盆踊りが行われました。今年はようやく三宅島でのお盆です。新しい仏様もご先祖様も三宅島の家で迎えてくれる人がたくさんいて喜んでくれているのではないのでしょうか。暦の上では立秋も過ぎ、東京では昨日の激しい雷雨の後朝晩が少し過ぎやすくなってきました。夏風邪などひかぬようどうぞお大事になさってくださいね。

みんなの声

ご支援へ、感謝の思いをこめて

みやけの風でも常連で、伊豆にお住まいの五十嵐さんより帰島支援ボランティアに対するお礼のお手紙をいただきました。思いをこめて、詠んでくださいました短歌と合わせてご紹介します。

前略

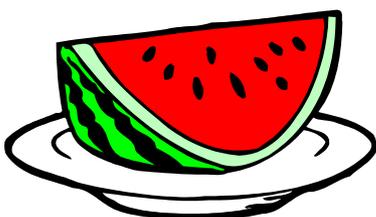
島民のため、上原さんはじめスタッフの皆さま、そして大勢のボランティアのお手伝いによって、島民高齢者の皆さんは、どんなに大助かりした事でしょう。

避難生活の当初から申しますと、5年間と言う長き期間中、暖かきご配慮に頭の下がる思いで、誠に感謝に堪えない思いです。

本当に三宅島、島民のためご配慮とご支援をいただきました事に、心から厚く厚く御礼申し上げます。

酷暑が続いております故、十分ご自愛くださいませ。

(伊豆 五十嵐文子)



噴火にて避難せざる故 大勢の
 津津浦浦から 支援受け助かる
 三宅島 日本全国の暖かさ
 支援によって 復興叶ふ
 三宅島 避難解除 半年過ぎ
 条条に島民 落ち着き取り戻す
 地区により 樹木豊かでうぐいすの
 美しき囀りに 癒さるる
 解除後も 支援センターの暖かき
 ボランティアのお手伝いに 感謝す

みやけの風現地センターから

暑い日が続いています。島は今日からお盆ということもあり、あちこちのお宅で準備がされています。提灯を出し、ナスやキュウリで馬や牛のお供え物を揃え、竹でたいまつを作り・・・。

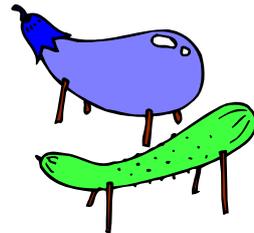
島全体がお盆を迎え忙しくしています。

そして、昨日(8月12日)には阿古中学校で盆踊り大会が開催されました。

島での5年振りのお祭り。アジサイ音頭や新アジサイ音頭に東京音頭まで、ヤグラの周りを多くの方が踊っていました。島のオジサンやオバサンはもとより、帰省した多くの若い人が参加していたのには、ちょっとだけ参加させてもらったボランティアもビックリしていました。

お祭りはオジサンやオバサンだけが待ち望んでいたのではなく、多くの若い島民の皆さんにも待ち望まれていたことがよくわかりました。

支援センターの方は、お盆中は島民の方々への訪問を控え、お借りしている伊豆老人福祉館の片付け準備に入っています。

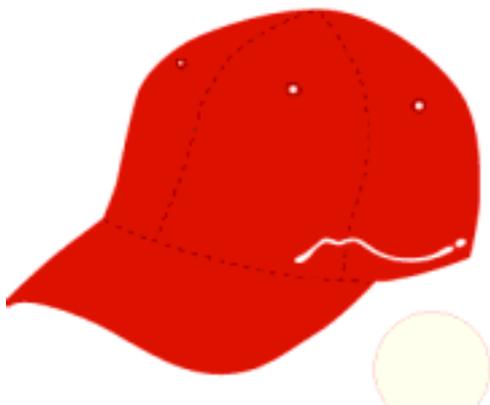


8月6日 土曜日

三宅島支援センター 三宅島事務所

三宅島のみなさん

**たくさんのふれあいとやさしさを
ありがとうございました。**



2005年8月15日をもって、三宅島災害・東京ボランティア支援センターは、三宅島島内での帰島支援活動を終了させていただき、24日には全員帰京いたします。

多くの島の皆さんに支えられ、ここまで活動を続けられたことを感謝申し上げます。